

指 定 管 理 業 務 評 価 結 果 書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市中央斎場（人体火葬）
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市昭和 2 - 1 - 2 2 倉敷昭和ビル 2 階 2 0 5 号 名 称 P F I 倉敷中央斎場 株式会社 代表者 天野 英将
(3) 公の施設の所管部署	環境局環境政策部環境衛生課
(4) 評価対象期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	P F I 倉敷中央斎場株式会社は、令和 6 年度から 1 期目の倉敷市中央斎場における人体火葬の指定管理者となった。 中央斎場の火葬炉設置業者がメーカーとしての今までの知見を生かし、火葬炉設備や施設の日常点検を実施し、新設火葬炉の安定稼働を実現するとともに不測の事態に備えた。 また、火葬の受付や運營業務については、他自治体での受託等によるノウハウを生かし、日々の円滑な運営を行った。 ほかにも、葬祭事業者との意見交換会の実施やアンケートに基づく用品の購入や運営の改善などに取り組んだ。 指定管理 1 年目のため利用者や葬祭事業者等の声に十分に耳を傾け、日々改善を図りながら親切丁寧な対応を心掛けた。その結果、利用者アンケートにおいて全質問項目の平均で 9 5 % を超える高い評価（満足度）を得た。	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	当施設のコンセプトである「美しく人にやさしいお別れの場」を創出するための取組として、地域産材を用いた温もりを	

	感じる室内意匠と、それにふさわしい利用者への丁寧な対応を常に心がけ、御遺族の心に寄り添う運営を目指した。 アンケートのフィードバックとして、新たな用品の購入や迅速な対応ができるような運営の改善も実施した。 また、火葬（葬儀）に際し、葬祭事業者の協力や理解が必要不可欠であるという認識から、葬祭業者との意見交換会を実施し、お互いの意思疎通を図ることで、結果として御遺族にとってよりよい火葬（葬儀）となるように努めた。
(3) アンケート結果の概要	2, 450 件のアンケートを回収 全項目の質問について「満足」「ほぼ満足」の平均回答率は、95%を超える評価だった。 故人との最期のお別れをする場にふさわしく、「ハキハキした声でとてもわかりやすい説明だった」「身だしなみが整っていて、清潔感を感じた」などの回答が多数あった。

3 施設の利用状況

(1) 利用実績	・ 人体火葬 — 3, 8 8 2 件 ※肢体及び産汚物は除く。
(2) 事業の内容	・ 倉敷市中央斎場における人体火葬の受付、火葬業務及び維持管理運営業務 ・ ・ ・

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 1 9 0, 1 6 1 千円 市からの指定管理料 (委託料) 1 9 0, 1 6 1 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 1 8 8, 8 9 6 千円 主な支出 人件費 1 0 0, 3 8 0 千円 光熱水費 2 1, 0 6 9 千円 修繕料 2 9, 2 5 8 千円 ※将来の計画修繕の積立金も含む。 消耗品費 4, 5 6 4 千円 施設管理委託費等 2 0, 2 0 0 千円 運営・火葬事務経費 4, 4 0 5 千円 その他経費 9, 0 2 0 千円